

# 平成29年度寿楽荘事業計画・収支予算(抜粋)

## 1 基本方針

今年度は、すべての社会福祉法人が大きく変わるといわれている社会福祉法人制度改革の完全施行と、施設においても設立50周年という節目の年度となりますが、社会福祉施設を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。

まずは、介護人材難といわれる中での雇用対策と西多摩地域における待機者の激減問題です。介護人材難については、近隣施設においても定数を確保できない施設が出てきていて、欠員を補充確保するのに苦慮している状況であり、待機者減については様々な広報・ルート開発、または地域で一括しての対応も模索し、入所者の確保に努めているところです。さらには、介護保険の基本報酬が毎回減額される中での運営であり、将来に向けての課題が山積している状態です。

安定した財政基盤があって初めて職員が安心して働け、利用者に対して継続的なより良いサービスを提供していくことができるのでは、と考えますが、現在の介護保険制度下においては、介護職員だけが処遇改善の加算対象となっている現状にあり、他職種が協力し合い利用者の皆様に多種多様なサービスを提供して行く施設にとっては公平性の観点から疑問に感じているところです。全職種の処遇改善がなされなければ将来の安定した施設運営は難しいものとなってしまいます。来年度の介護報酬の改定時には是非この点を改善して頂きたいと考えています。

このような背景の中、利用者平均要介護度の高レベルでの維持、稼働率の向上、介護報酬各種加算を請求できる体制作り、介護福祉士資格保持者の拡充と若年層の雇用促進・育成と再雇用制度のさら

### 1 重点目標

①. 職員一人ひとりがそれぞれの立場において資質の向上・職種間の連携強化に努め、協調性を養い信頼関係を構築します。

②. 創立時よりの理念（理想）、目標の周知と再認識

【愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設をめざしています。】これら理念と目標の周知・再認識に努めます。

③. 若年層の雇用促進・育成と再雇用制度の充実

ハローワーク・教育機関と連携し町内・外の新卒者並びに若年層の雇用の促進を図り、介護・看護職員を長期的に継続して育成できる体制作りを進めます。また、再雇用制度については誰もが安心して働けるよう制度の強化に取り組みます。

## 2 計画

1. 安定した給食サービスを提供できるよう直営方式給食事業の充実を目指します。

2. 中長期計画に添った施設稼働率95%（要介護度4.0）ショート稼働率100%の達成を目指します。

3. 老朽化設備、機器等の計画的な更新と修繕による対応を図ります。

（利用者の安全面に配慮した機器への更新）

4. 職員雇用にあたり幅広い人材確保に向け各種行政機関、学校等と連携を密にした人材の確保に取り組みます。

5. 自立と尊厳ある生活支援

（傾聴による生活支援と利用者処遇の更なる向上）

6. 職員の更なる資質向上に向け、キャリア段位制度の活用、双葉会研修規程に基づいた研修への参加を計りながら職員の育成に努めて行きます。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	寿楽荘会計
事業活動収入計①	814,862,000
事業活動支出計②	790,199,000
事業活動資金収支差額③(①-②)	24,663,000
施設整備等収入計④	0
施設整備等支出計⑤	34,403,000
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-34,403,000
その他の活動による収入計⑦	11,916,000
その他の活動による支出計⑧	1,500,000
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	10,416,000
予備費支出⑩	676,000
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨)	0
前期末支払資金残高⑫	362,921,017
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	362,921,017